

みえの子ども応援プロジェクト

「みえの子ども応援プロジェクト」とは？

子どもが自らの力で夢や希望を実現することを支えるため、県内外の企業・個人の皆様からのご寄附を事業費として活用しているプロジェクトです！皆様のご協力をお待ちしています！

ご寄附の活用例

①子どもの会社見学

地域の子どもたちに貴重な学びや体験の機会を提供するため、応募があった企業と近隣の幼稚園・保育所・学童等をマッチングさせ、会社見学(工場や職場)を実施しました！



法人より、10万円以上のご寄附をいただいた場合は、下記のとおり対応させていただきます！

- ★「みえの子ども応援プロジェクト」のホームページに企業ロゴを掲載します！
- ★「ありがとうの一行詩コンクール作品集」に企業ロゴを掲載します！
- ★プロジェクトで実施する事業について、チラシに企業名を掲載します！
- ★感謝状を贈呈します！ 等

寄附申込書

三重県知事あて

令和 年 月 日

郵便番号：〒
ご住所：
ご芳名・法人名：
代表者役職及びご芳名：

私は、「みえの子ども応援プロジェクト」の趣旨に賛同し、寄附を申し込みます。

記

ご寄附いただく金額： 円

※ただし、「みえの子ども応援プロジェクト」第5期(令和3～5年度)分として
※後日、納付書をこちらから郵送させていただきます。

【ご連絡先】 ご担当者様のお名前：
電話番号：

電子メール：

【寄附申込先(個人)】

送信先：〒514-8570 三重県津市広明町13番地

三重県総務部税務企画課(三重県ふるさと応援寄附金窓口)

電話059-224-2127 FAX059-224-4321 電子メール zeimu@pref.mie.lg.jp

【寄附申込先(法人)】

送信先：〒514-8570 三重県津市広明町13番地

三重県子ども・福祉部少子化対策課

電話059-224-2057 FAX059-224-2270 電子メール shoshika@pref.mie.lg.jp

②ありがとうの一行詩コンクール

子どもから家族や友だちなどへ、大人から子どもへ、思っているけれどなかなかお互いに伝えられない大切な人への「ありがとう」の気持ちをテーマにした一行詩コンクールを実施しています。

令和4年度は、家族部門、友だち部門、地域部門について作品を募集し、特に学校あての広報に力を入れ、更なる応募数の増加に向けて取り組みました。

1	募集期間	令和4年7月1日(金)～9月30日(金)
2	募集部門	家族部門(個人部門、ペア部門) 友だち部門(個人部門、ペア部門) 地域部門(個人部門、ペア部門)
3	賞品	最優秀賞、協賛企業賞、優秀賞、佳作

令和4年度応募作品数 12,418作品

第14回 ありがとうの一行詩コンクール

家族や大切な人へ ありがとう

応募期間 7/1(金)～9/30(金) 当日消印有効

家族の絆・個人部門 最優秀賞作品
地域の絆・ペア部門 最優秀賞作品

主催：三重県、みえ次世代育成応援ネットワーク
後援：三重県教育委員会

応募要項

- 募集部門**
 - 家族部門(個人部門、ペア部門) 家族に伝える部門です。
 - 友だち部門(個人部門、ペア部門) 友だちに伝える部門です。
 - 地域部門(個人部門、ペア部門) 地域の方、職場の方などに伝える部門です。
- 応募資格** どなたでもご応募いただけます。
- 応募先・問い合わせ先** (郵便)〒514-8570 三重県津市広明町13番地 三重県子ども・福祉部少子化対策課 一行詩係 (電話)059-224-2404 (FAX)059-224-2270 (電子メール) jisecai@pref.mie.lg.jp ※三重県申請・届出等手続システムへのアクセスは、このチラシのQRコードを使用してください。
- 選考・発表** 審査委員会において厳正に審査を行い、入賞者には、令和4年12月頃に連絡します。後日、入賞作品を掲載した作品集を作成します。また、入賞者全員に表彰状と副賞を贈呈します。
- 応募期間** 令和4年7月1日(金)～9月30日(金) (当日消印有効)
- 応募方法** 一行詩・名前・郵便番号・住所・電話番号・年代(学校名・学年)を書いて応募してください。(ペア部門は、2人分を書いてください。) 郵便・FAX(A4)、電子メール、三重県申請・届出等手続システムで受け付けます。(点字の場合は、封書で送ってください。)何点でも応募できますが、用紙1枚につき2点までの応募とします。ペアの部門に応募する方は、1枚につき1組とします。
- 賞** 最優秀賞、協賛企業賞、優秀賞、佳作
- その他** 応募作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は三重県に帰属するものとします。
- 個人情報の取り扱い** 応募の際にお知らせいただきましたお客様の個人情報は、適正に管理します。作品および作者と住所(都道府県・市区町村のみ)、学校名・学年・年代については作品集で公開します。

第14回 ありがとうの一行詩コンクール 応募用紙

名前 (フリガナ)	部門を選んでください 【家族部門 / 友だち部門 / 地域部門】【個人 / ペア】 <small>※応募する部門に○をつけてください。ペアで応募される場合は2人で1作品ずつ書いてください。</small>
()	■だれにおくる一行詩ですか? 【 () へ(あなたとの間隔:) 】
住所 〒	■だれにおくる一行詩ですか? 【 () へ(あなたとの間隔:) 】
電話番号	
年代(学校名・学年)	■この一行詩にまつわるエピソードや、書いたときの気持ちを教えてください。
10代以下・20代・30代 40代・50代・60代以上	

③子どもサポート！オンライン座談会

家族のありようが多様化し、子どもの貧困やヤングケアラーなど、支援が必要な子どもたちへの社会的関心が高まっています。そんな中、どのような支援が現場から求められているのかを知るために、子どもをサポートする活動を行っている団体をゲストスピーカーとしてお招きし、現場の声を聞くオンライン座談会を実施しました！

	開催日(令和4年)	内容	ゲスト・ファシリテーター
第1回	9/30(金)17:30～19:00	こども食堂編	尾鷲みんなの食堂 山下裕子様
第2回	10/21(金)17:30～19:00	外国にルーツを持つ子どもたちへの支援編	NPO法人愛伝舎 坂本久海子様
第3回	11/27(日)10:30～12:00	こども食堂編	NPO法人太陽の家 対馬あさみ様
第4回	12/19(月)10:30～12:00	総まとめ	こども学校のびすく 松井強様

みえ次世代育成応援ネットワーク

みんなで子どもをサポートしよう！

子どもサポート！オンライン座談会

子どもの数が減っており、少子化に歯止めがかからない状況が続いています。また、学校行事や部活動、地域の子ども活動の中止や減少など、子どもたちの様々な体験の機会が失われています。加えて、家族のありようも多様化し、子どもの貧困やヤングケアラーなど、支援が必要な子どもたちへの社会的関心が高まっています。そんな中、どのような支援(CSR活動)が現場から求められているのでしょうか？座談会では、子どもをサポートする活動を行っている団体の皆様をゲストスピーカーとしてお招きし、現場の声を聞きながら、みんなでサポートできることを探します！

開催方法 オンライン(ZOOM開催) 裏面のQRコード又はURLから参加をお願いします。

参加費 無料 どなたでも参加いただけます！

参加申し込みはこちら → → → →

★事前申込みしていない方の当日参加も大歓迎です。★途中退室もOKです。

問い合わせ先 〒514-8570 三重県津市広明町13番地 三重県子ども・福祉部少子化対策課 オンライン座談会係 (電話)059-224-2404 (FAX)059-224-2270 (電子メール) jisecai@pref.mie.lg.jp

主催 三重県、みえ次世代育成応援ネットワーク

お気軽にご参加ください！
★当日は、QRコード又は以下のURLから参加をお願いします！ → <https://www.pref.mie.lg.jp/SHOSHIKA/HP/m0329700157.htm>

★すべてに参加いただいても、気になった回のみ参加でも結構です！

第1回：こども食堂編
9月30日(金) 17:30～19:00
子ども食堂 尾鷲みんなの食堂
代表 山下裕子様

尾鷲みんなの食堂は2019年4月に尾鷲市でスタートしました。地域コミュニティの居場所を作るとともに、小さなおせっかいがみんなの大きなHAPPYになるよう願いを込めて、地域の皆様が少しでも子育てしやすいお手伝い出来るよう月1度活動しています。座談会では、外国人の子もだけでなく、子どもを取り巻く困窮の現状と、複数の団体との連携による活動についてお話しします。

第2回：外国にルーツを持つ子どもたちへの支援編
10月21日(金) 17:30～19:00
NPO法人愛伝舎
理事長 坂本久海子様

NPO法人愛伝舎では「多様性を豊かに」を掲げ、多文化共生社会を目標として、教育、就労、生活支援や、ひとり親家庭支援の「まんぷく大作戦」を行っています。また、東海3県の団体とネットワークを構築し、生活支援や、ひとり親家庭支援の「まんぷく大作戦」を行っています。座談会では、外国人の子もだけでなく、子どもを取り巻く困窮の現状と、複数の団体との連携による活動についてお話しします。

第3回：こども食堂編
11月27日(日) 10:30～12:00
NPO法人太陽の家
理事長 対馬あさみ様

NPO法人太陽の家は、「さきみ、あなたを、ひとりにしない」を合言葉に、こども食堂、10代の無料カフェ、中学校内での居場所カフェ、学童支援など、食と居場所を中心とした支援を行っています。座談会では、双方向の対話の場になるように！今回は、子どもたちの現状と制度のスキマや課題をお話させていただきます。

第4回：総まとめ
12月19日(月) 10:30～12:00
特定非営利活動法人世界SHIENこども学校のびすく
理事長 松井強様

のびすくは、子どもたちと、親御さんからお年寄りまで、全ての方の安心・安全で、生きる力を育める居場所として、学童、訪問介護事業、教育、活性化などを行っています。座談会が、双方向の対話の場になるように！楽しく、豊かさを与え、心温まるオンラインにしましょう！

【ファシリテーター】
特定非営利活動法人世界SHIENこども学校のびすく
理事長 松井強様

